

県で実施している事業・支援等

令和2年9月1日

熊 本 県

目 次

- 1 道路関係事業 P 1
- 2 林道・治山・林業関係事業 P 5
- 3 五木村への支援 P 10

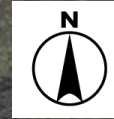
1-(1) 国道445号(九折瀬地区)、村道神屋敷線の整備

●事業概要

国道445号(九折瀬地区)

H24	現況(転石)調査
H25	ルート検討、地元説明
H26	ルート決定、地質調査、測量設計
H27	橋梁詳細設計(下流側)、擁壁設計
H28	路側擁壁工事
H29	橋梁下部工工事、路側擁壁工事
H30	橋梁上部工工事、橋台取付工事、拡幅工事
R1	橋梁上部工工事、路側擁壁工事、舗装工事、拡幅工事

③ R1 R445 拡幅工事、舗装工事



神屋敷トンネル

左岸側:村道

右岸側:国道

② R1 R445路側擁壁工事、舗装工事

① R1 R445 橋梁上部工工事

写真A

⑥ R1 村道 法面工事

写真B

⑦ 村道 舗装工事

九折瀬洞

村道神屋敷線

至 頭地

至 宮園

H27~H28	測量、設計、路側擁壁・舗装工事
H29	橋梁下部工工事
H30	橋梁上部工工事、橋台取付工事
R1	橋梁下部工工事、路側擁壁工事、舗装工事、法面工事

④ R1 村道 路側擁壁工事

⑤ R1 村道 橋梁下部工工事

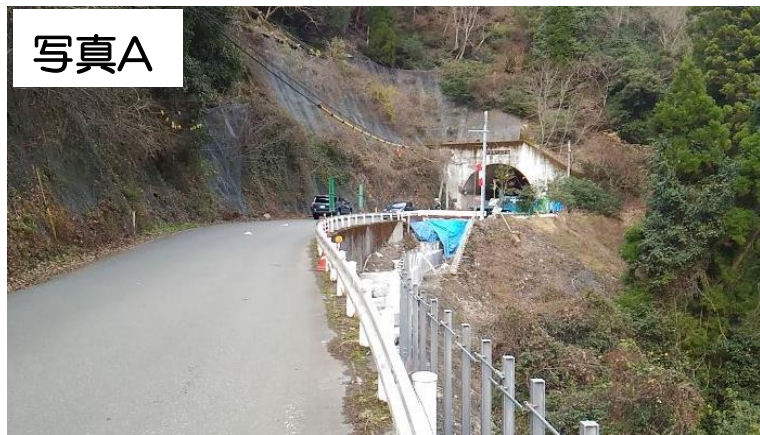
1-(2) 国道445号(九折瀬地区)、村道神屋敷線の整備

● 現在の状況

国道445号(九折瀬工区) 路側擁壁工 (神屋敷トンネル頭地側)

令和2年7月末時点

写真A



施工前



完了

村道神屋敷線 舗装工事 (村道神屋敷線九折瀬洞付近)

令和2年7月末時点

写真B



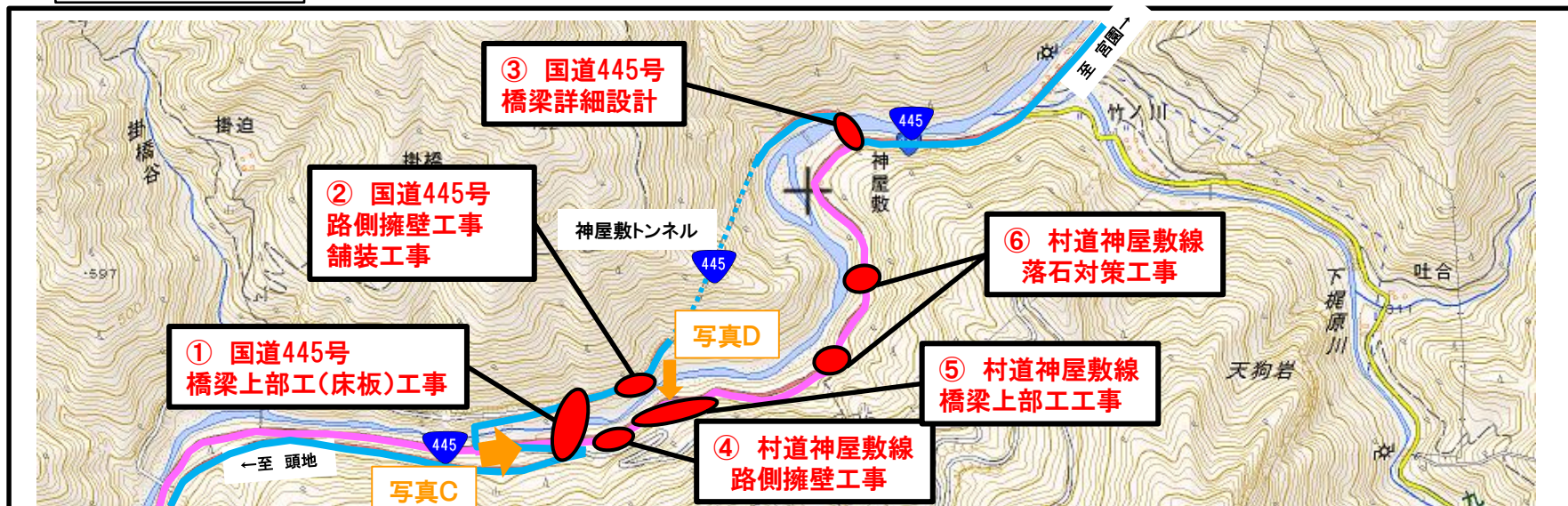
施工前



完了

1-(3) 国道445号(九折瀬地区)、村道神屋敷線の整備

令和2年度 事業の概要 (計画)



国道445号—橋梁上部工工事等

令和2年6月撮影

写真C



村道神屋敷線—橋梁上部工工事等

令和2年6月撮影

写真D



1-(4) 令和2年7月豪雨による被災状況(宮原五木線)

- ・ 県道宮原五木線は、令和2年7月豪雨により崩土や路面の損傷が多数発生。
- ・ 7月24日の豪雨により、再度の崩土や路面損傷が発生し、小鶴地区が一時的に孤立状態に。
- ・ 24日に^{あらいだし}洗出地区の崩土撤去を行い、^{こづる}小鶴地区の孤立状態を解消。
- ・ 31日に^{おとおりとうげ}大通峠付近の路面の仮舗装を実施し、八代方面の通行を確保。



2-(1) 林道開設(森林基幹道 瀬目下谷線)

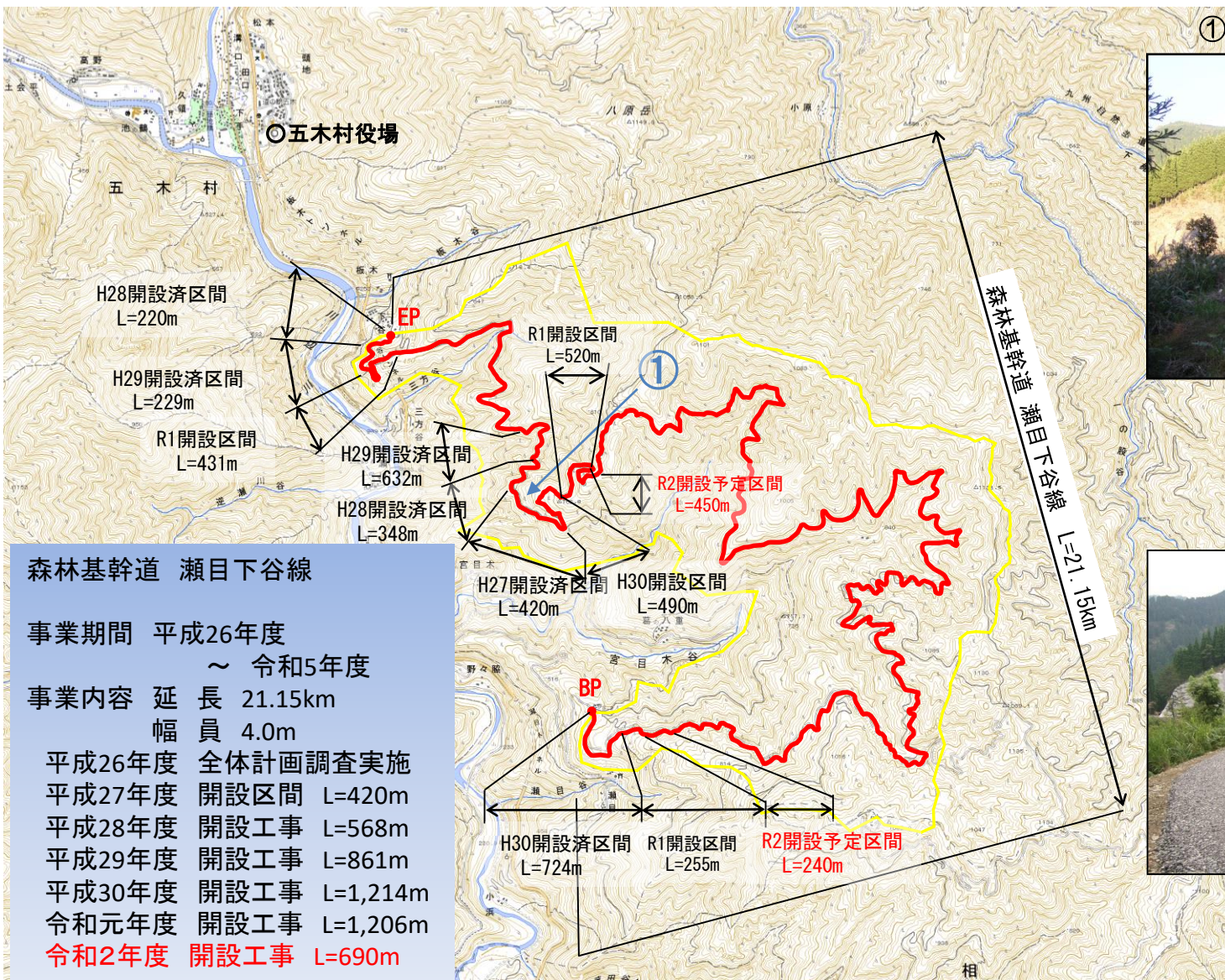
①矢印 作業道改築区間



施工前



施工後



森林基幹道 瀬目下谷線

事業期間 平成26年度
～ 令和5年度

事業内容 延長 21.15km
幅員 4.0m

平成26年度 全体計画調査実施
平成27年度 開設区間 L=420m
平成28年度 開設工事 L=568m
平成29年度 開設工事 L=861m
平成30年度 開設工事 L=1,214m
令和元年度 開設工事 L=1,206m
令和2年度 開設工事 L=690m

2-(2) 復旧治山事業(事業期間:H29~R3)

横手地区

〈復旧計画〉平成29~令和3年度(総事業費 222,900千円)

- 平成29年度(補正)事故繰越
事業名:復旧治山事業
工種:谷止工 1基
工期:平成30年6月18日 ~ 令和1年11月29日
- 平成30年度(補正)繰越
事業名:復旧治山事業
工種:谷止工 1基
工期:平成31年3月29日 ~ 令和2年2月14日
- 令和3年度(予定)
事業名:復旧治山事業
工種:谷止工 1基
山腹工 0.14ha(厚層基材吹付工2,363.6m²ほか)



被災状況



H30(補正)しゅん工状況



2-(3) 荒廃溪流の災害復旧(事業期間:H30~R2)

上荒地地区

〈復旧計画〉平成30年度(総事業費 152,563千円)

○平成30年度事故線越

事業名: 災害関連緊急治山事業

工種: 谷止工 2基

工期: 平成31年2月19日 ~ 令和2年9月30日

※現契約工期は9月30日であるが、令和2年7月の梅雨前線豪雨による災害の影響により工期延期予定

上荒地(谷止工)

被災状況



復旧イメージ



2-(4) 令和2年7月の梅雨前線豪雨による山地災害状況

〈災害の発生状況〉 ※令和2年8月17日時点

- 発生日：令和2年7月4日
- 被害箇所数：46箇所
- 被害額：1,829,000千円



五木村乙字上小鶴



五木村乙字椎葉



五木村甲字小野



五木村甲字野々脇

2-(5) ~ くまもと林業大学校【長期課程】in 県南校 ~

1 概要

◆令和元年度に九州初となる「くまもと林業大学校」を設置し、県北校と県南校に分けて運営

- ◇県北校) 座学拠点：林業研究・研修センター フィールド：県北地域中心
- ◇県南校) 座学拠点：五木村役場 フィールド：県南地域中心

◆林業に必要な技術と現場力を身に付けて、即戦力となる人材を育成

- ◇令和2年度入校生 全体 19名
(第2期生) うち県南校 6名(球磨管内居住者3名、Uターン者1名、管外者1名、県外者1名)
- ◇令和元年度卒業生 全体17名
(第1期生) うち県南校 6名(卒業後の就業状況：森林組合1名、民間林業事業者5名)



2 実施状況



3-1 五木村への財政支援

●平成23年6月の国、県、五木村の三者合意に併せ、村の振興に必要な事業を実施していくため総額50億円の財政支援を表明

●県が実施する国道445号の整備等に活用するとともに、五木村が行う基盤整備事業に対しては五木村振興交付金を交付

【単位：百万円】

年度	財政支援 全体額	村事業				県事業
		事業数	事業費	交付額	主な事業内容	
H24～H26 [実績]	2,643	64	3,444	1,671	・村道16路線、林道2路線の整備に着手(H24) ・携帯電話基地局整備に着手(H25) ・水没予定地(西部エリア)に五木源パークが完成(H26)	972
H27 [実績]	409	17	800	373	・村道神屋敷線(県受託)の整備に着手 ・林業従事者専用住宅を3棟整備	36
H28 [実績]	346	16	886	326	・歴史文化交流館工事、オープン準備 ・宮園大イチョウ周辺整備	20
H29 [実績]	390	17	991	342	・歴史文化交流館「ヒストリアテラス五木谷」がオープン ・水没予定地(東部エリア)にコテージ等整備に着手 ・林業センター改修(移住者向け住居整備)	48
H30 [実績]	510	16	698	391	・宮園大イチョウ周辺整備完了 ・水没予定地(東部エリア)にコテージ等整備完了 (R1.4.20オープン)	119
R1 [実績]	334	15	301	124	・村営住宅整備(単身用4世帯) ・高齢者集合住宅の設計	210
R2 [予算]	222	11	621	222	・小水力発電の整備 ・村道、林道の改良等	(148)
合計	4,854		7,741	3,449		1,405 (148)

※ 県事業は、国道445号(九折瀬地区・五家荘トンネル)、旧道整備等

※ R2の県事業()書きは土木部の予算で実施

3-(2) 新たな「ふるさと五木村づくり計画」

五木村振興交付金による新たな支援の概要

期間	令和元年度～令和5年度までの5年間
規模	総額3億円以内(五木村振興基金(10億円)残を含む)
対象	重点的に取り組む4分野に該当する事業(村の実情に沿って弾力的に活用) ①観光・物産振興 ②林業振興 ③商工業の振興 ④移住・定住の促進
補助率	事業費の3/4以内



3- (3) 令和2年度の主な事業

観光・物産振興

- ・ 旅行専門誌への広告掲載やホームページ等を活用したPR、村内観光施設における新型コロナウイルス対策等の課題対応のための設備整備等への補助。
- ・ 特産品(クネブ、シイタケ、ニンニク等)を活用した商品開発・販路拡大等への支援。



五木村PRポスター(福岡市営地下鉄、西鉄に掲示)

林業振興

- ・ 新型コロナウイルスの影響で材価が低迷し木材素材生産が厳しい状況の中で、保育間伐に支援を行い雇用の場を確保し併せて森林環境の整備を図る。
- ・ 「くまもと林業大学校県南校」の運営協力、実習場所・指導者の選定等に対する協力体制の構築、生徒の住居確保や村内就業に向けたマッチング支援。

商工業振興

- ・ 雇用維持・事業拡大や業種転換等を行う村内事業者に対する補助。

移住・定住の促進

- ・ ホームページ等を活用した移住・定住・空き家等情報の発信強化。